ISSN 1881－3836

北東アジア研究交流ネットワーク

ニューズレター

第 14 号

特集――上海協力機構（ＳＣＯ）
二つの国際システム競合時代の到来――上海協力機構に見られる新国際システムの萌芽　凌　星光 1
東アジア共同体と上海協力機構――アジア広域経済圏の観点から論ずる　中川十郎 4

特別討論――北東アジアの緊張をいかに乗り越えるか
問題提起
1．単なる領土問題ではない尖閣論議――日本右傾化へのショック療法とその戦略的意図　凌　星光 7
2．日中関係とロシアの日本接近　吉田　進 8
3．金正恩体制の行方と日朝関係　菱木一美 11
応答報告
1．北東アジアにおける地域交流の意義――グローバル化の中の領土問題　西川博史 12
2．中日関係史学会との共同シンポ参加報告　杉本勝則 13
3．上海協力機構などの動向報告　中川十郎 14
4．ASEAN と中国関係の動向　林　華生 15

編集後記 16

特集――上海協力機構（SCO）

二つの国際システム競合時代の到来*)

――上海協力機構に見られる新国際システムの萌芽――

日中科学技術文化センター理事長
福井県立大学名誉教授　凌　星光

2008年秋の国際金融経済危機の到来によって、中国を中心とする新興国の発展ぶりが顕著となり、他方、米国をはじめとする先進国の停滞ぶりが目立つようになった。こうした中、2012年６月６・７日に北京で開かれた上海協力機構（SCO）第12回元首会議が開かれた。そこで発表された「永続的平和と共同繁栄地域構築についての宣言」には「相互信頼、相互利益、平等、協議、多様な文明尊重、共同発展」の上海精神が功を奏したと謳い、「友好協力の効果的モデルを作り上げた」「すでに21世紀における国家間・地域協力のモデルケースとなった」などが書き込まれた。

５年前の時点では、上海精神が実るかどうかについて、まだ多くの人が疑問を抱いていたが、SCO 発足から10年後の現時点

*）この論文は、2012年８月25日に開催された NEASE-Net 第23回政策セミナーでの報告に対応したものである。（NEASE-Net）